

兵庫県美
ボーダレス
アートトーク

連続講演会シリーズ第 1 回

〈美術 × 文学〉

原田マハ

(作家)

元キュレーターにして
ベストセラー作家。
アートへの愛が豊かな
物語を紡ぎ出す。



© 森栄喜

現代社会において「美術」の創造性はどのような拡がりの可能性を秘めているのか — 兵庫県立美術館は、そのような視座から、「美術」にルーツを持ちながらも美術分野以外のジャンルにおいて創造的な活動を国際的に展開している兵庫ゆかりのクリエイターをお招きし、3回の連続講演会を開催します。その第1回目は、元キュレーターで作家の原田マハさん。「創作分野」と「国境」という二つのボーダーを軽やかに超えて活動する原田さんに、創作の流儀から、美術の持つ創造性などについて、当館の菫館長とともに語り合ってください。

開催日時 2018年11月24日(土) 14時から(約90分) 入場は30分前から

開催場所 兵庫県立美術館 ミュージアムホール

参加料 無料(要事前申し込み、先着250名まで)

★講演終了後、原田さんのサイン会実施(当日の書籍購入者に限る。一人一冊まで)

申込方法 10月25日(木)10:00より兵庫県立美術館ホームページ内の「ボーダレスアートトーク」専用申し込みフォームから申込。受付完了後、確認メールを自動送信します。

*申し込み締切となった場合は、ホームページでその旨を告知します。

主催 兵庫県立美術館、兵庫県立美術館ギャラリー棟活性化実行委員会

問合せ先 兵庫県立美術館 営業・広報グループ TEL 078-262-0905

原田マハ

プロフィール

1962年東京都生まれ。関西学院大学文学部日本文学科、早稲田大学第二文学部美術史科卒。森ビル森美術館設立準備室、同室からの派遣でニューヨーク近代美術館勤務を経てフリーのキュレーターとして独立。2005年『カフーを待ちわびて』で作家デビュー。12年に『楽園のカンヴァス』で第25回山本周五郎賞受賞、17年に『リーチ先生』で第36回新田次郎文学賞受賞。他に『暗幕のゲルニカ』『アノニム』『たゆたえども沈まず』『スイート・ホーム』など著書多数。

各回ホスト／蓑豊



1941年金沢市生まれ。慶應義塾大学文学部卒業後、ハーバード大学大学院美術史学部博士課程修了、文学博士号取得。カナダ・モントリオール、米国・インディアナポリス、シカゴの各美術館にて東洋部長を歴任。1996年大阪市立美術館長、2004年金沢21世紀美術館初代館長に就任し、2005年より金沢市助役も兼務。2007年4月、金沢21世紀美術館特任館長、大阪市立美術館名誉館長となり、同年5月、オークションハウスのサザビーズ北米本社副会長に就任。2010年4月より兵庫県立美術館長。

兵庫県美 ボードレス アートトーク

次回以降の講演

第2回 2019年1月13日(日)

〈美術 × 建築〉

曾野正之



テクノロジーだけでない、人間の為の、
美しい《火星の水の家》を求めて。

第3回 2019年3月2日(土)

〈美術 × 演劇〉

やなぎみわ



すべては個々に分散する。
すべてはひとつに戻る。
現代美術と野外劇という対極の表現。

*専用申し込みフォームを兵庫県立美術館ホームページ内に申込開始日に立ち上げますので、そこからお申し込み願います。
曾野正之講演申込開始日：2018年12月14日(金)、やなぎみわ講演申込受付日：2019年1月31日(木)